

計画名	第4次宮崎市病院事業経営計画	計画期間	R3年度	～	R7年度
-----	----------------	------	------	---	------

※令和5年度末に策定した改訂版の計画期間については令和9年度まで

（1）計画の概要

課題・背景	本市では、平成29年3月に既存事業やサービスについても従来どおり継続したうえで収支改善を図ることを目的とし、平成28年度から令和2年度までの5年間で計画期間とした第3次宮崎市病院事業経営計画を策定し、同計画に定めた目標等を達成するため、各種取り組みを進めてきた。 しかしながら、病院事業の附帯事業である介護老人保健施設事業を継続した場合、今後、より厳しい経営状況となることが見込まれるため、国の方針も踏まえ、病院事業を今後とも安定的に継続して運営するという原点に立ち返り、その実現に向けた経営改善の方向性を定め、地域で必要とされている医療を今後も確保していくことを目的として本計画を策定している。
基本方針	田野病院が果たすべき役割（救急医療、回復期医療、専門医療、在宅医療及び総合診療の提供）を担った上で、安定的かつ継続的な病院経営を目指す。

（2）収支計画

第4次宮崎市病院事業経営計画の計画値と令和5年度決算値の比較（一部抜粋）

【単位：百万円 税抜】

病院事業収益			計画値	実績値
経常収益（A）			823	873
医業収益			679	704
うち入院収益			439	474
うち外来収益			179	171
医業外収益			144	169

病院事業費用		計画値	実績値
経常費用（B）		800	818
医業費用		753	776
医業外費用		47	42
経常収支（A－B）		23	55

（3）総括【結果と分析】

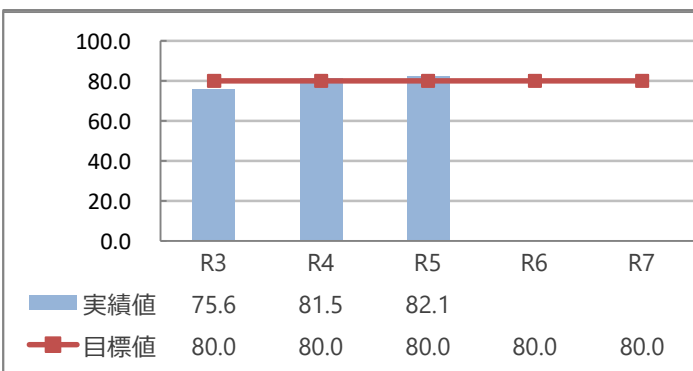
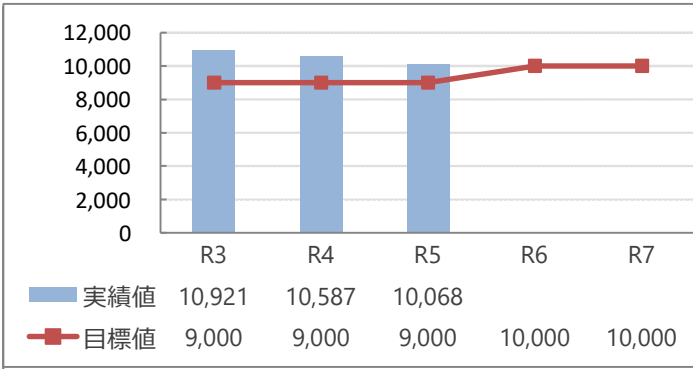
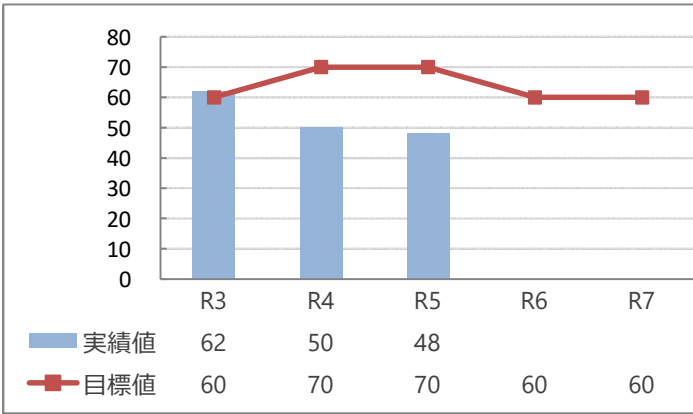
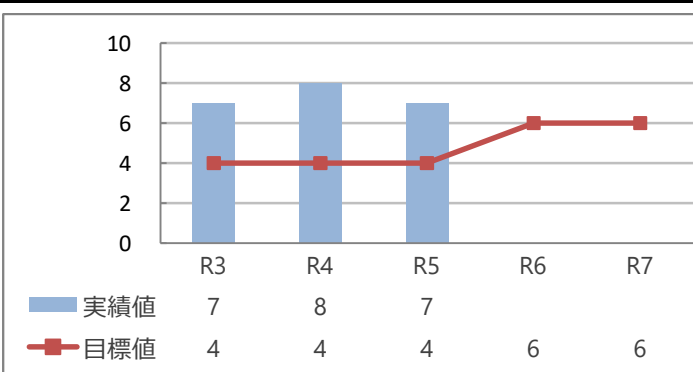
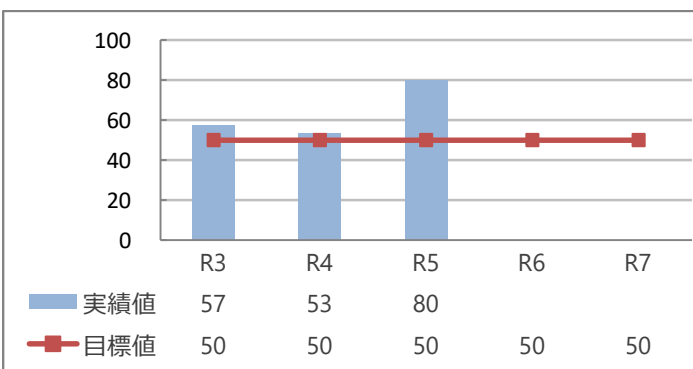
■経営指標に係る数値目標について		■医療機能に係る数値目標について	
令和5年度における田野病院事業の経営成績は、新型コロナウイルス感染症による診療体制への影響が一定程度あったものの、手術件数の増加などにより入院収益が増加し、5,516万1,426円の経常利益を計上した。 また、安定的かつ継続的な病院経営を行うために設定した経営指標に係る数値目標については、全7項目のうち、経常収支比率、医業収支比率の2項目において目標を達成、その他の5項目については未達成となった。この主な要因については、新型コロナウイルス感染症の院内クラスター発生などによる新規入院受入の制限に伴う入院関連の指標（年延入院患者数、病床利用率、新入院患者数）への影響や、新型コロナウイルス感染症疑いの発熱患者の減少や、院内クラスター発生時の外来リハビリの一時停止措置などによる年延外来患者数への影響があげられる。		本院の役割を果たすために設定した医療機能に係る数値目標については、全5項目のうち、在宅復帰率、リハビリ件数、在宅看取患者数、手術件数の4項目で目標を達成、在宅医療実患者数の項目のみ目標未達成となった。 在宅医療の提供に係る項目となる在宅医療実患者数については、在宅医療の対象となる患者に対し、積極的に在宅医療を提案するよう取り組んでいるものの、在宅医療の対象となる患者が多くないことや、在宅医療患者のうち亡くなった患者が多かったことなどにより、令和5年度においては目標未達成となった。手術件数については、安定的な麻酔科医の確保により、積極的に手術を実施することができ、令和4年度の53件から令和5年度は80件に大幅に増加し、田野病院が掲げる専門医療の提供の役割を果たした。	

経営指標に係る数値目標

評価凡例【○：取組を評価する △：分析事項を踏まえ概ね評価する ×：取組を評価しない】

				経営指標に係る数値目標		指標説明	R5実績	自己評価	自己分析等	外部評価	評価に対する意見等
				1	2						
	1	経常収支比率	%			経常収益/経常費用×100 経常収支比率は、医業費用及び医業外費用に対する医業収益及び医業外収益の割合を表し、通常の病院活動による収益状況を表す指標で、100%以上の場合は単年度黒字を、100%未満の場合は単年度赤字を表す。	令和5年度の目標値 102.9%に対し、実績は 106.7%となり、目標値を 3.8ポイント上回った。	○	令和5年度は、令和4年度と比較して入院収益の増加などにより、経常収益が約3,000万円増加したものの、指定管理料や控除対象外消費税等雑損失などの増加により、経常費用が約2,800万円増加したため、経常収支比率は同水準となった。 経営の健全性の目安となる100%を令和3年度から3年連続で上回る結果となった。 【参考】経営の健全性の目安 100%以上：経常費用を経常収益で賄えている状態		
						医業収益/医業費用×100 医業収支比率は、医業費用に対する医業収益の割合を表し、本来の医業活動による収益状況を表す指標で、100%以上の場合は医業活動自体で利益が発生していることを表す。	令和5年度の目標値 90.2%に対し、実績は 90.7%となり、目標値を 0.5ポイント下回った。	○	令和5年度は、令和4年度と比較して手術実施件数の増加に伴う入院収益の増加などにより、医業収益が約3,000万円増加した一方で、指定管理料などの増加による医業費用の増加は約1,900万円であったため、医業収支比率は0.8ポイント上昇し、目標達成となった。		

3	年延入院患者数	人	16,000 12,000 8,000 4,000 0 R3 R4 R5 R6 R7 ■ 実績値 ■ 目標値 <table><tr><td>13,447</td><td>11,897</td><td>11,955</td><td></td><td></td></tr><tr><td>12,288</td><td>12,288</td><td>12,322</td><td>12,288</td><td>12,288</td></tr></table>	13,447	11,897	11,955			12,288	12,288	12,322	12,288	12,288	指標説明 年延入院患者数は、病院の利用状況を把握するための指標で、当日末在院患者数（24時現在入院している患者数）に当日の退院患者数を加えた延べ人数で表す。 R5実績 令和5年度の目標値 12,322人に対し、実績は 11,955人となり、目標値を 367人下回った。	自己評価	自己分析等	外部評価	評価に対する意見等																																			
13,447	11,897	11,955																																																			
12,288	12,288	12,322	12,288	12,288																																																	
				△	令和6年1月に、新型コロナウイルス感染症の院内クラスター発生対応に伴う入院受入制限措置の実施などによる影響があったため、令和4年度と同程度の結果となった。																																																
					【参考】急性期病院等からの転院患者数（年延入院患者数換算） R4：3,816人 R5：3,863人（+47人）																																																
4	病床利用率	%	90.0 85.0 80.0 75.0 70.0 R3 R4 R5 R6 R7 ■ 実績値 ■ 目標値 <table><tr><td>87.7</td><td>77.6</td><td>77.8</td><td></td><td></td></tr><tr><td>80.2</td><td>80.2</td><td>80.2</td><td>80.2</td><td>80.2</td></tr></table>	87.7	77.6	77.8			80.2	80.2	80.2	80.2	80.2	指標説明 年延入院患者数/年延病床数（許可病床数×診療日数）×100 病床利用率は、病院の病床数に対して、どの程度の利用が行われたかを示す指標で、本指標の値が高いほど病床機能が有効に活用されていることとなり、収益増加に寄与することになる。 R5実績 令和5年度の目標値 80.2%に対し、実績は 77.8%となり、目標値を 2.4ポイント下回った。 【参考】R5年度病床利用率 11,955人/15,372床(42床×366日)	△	新型コロナウイルス感染症の院内クラスター発生対応に伴う入院受入制限措置の実施などによる年延入院患者数への影響により、病床利用率も令和4年度と同程度の結果となった。																																					
87.7	77.6	77.8																																																			
80.2	80.2	80.2	80.2	80.2																																																	
					【参考】病床利用率 受入制限の影響があった1月：57.8% 受入制限の影響がなかった月：79.6%																																																
5	新入院患者数	人	800 600 400 200 0 R3 R4 R5 R6 R7 ■ 実績値 ■ 目標値 <table><tr><td>501</td><td>427</td><td>428</td><td></td><td></td></tr><tr><td>650</td><td>650</td><td>650</td><td>450</td><td>450</td></tr></table>	501	427	428			650	650	650	450	450	指標説明 新入院患者数は、新規に入院した患者（再入院患者を含む）数を示す数値で、入院関連の指標となる。一般的に回復期医療を提供している病院は、急性期医療を提供している病院に比べ平均在院日数が長くなるため当該数値は低くなる。 R5実績 令和5年度の目標値 650人に対し、実績は 428人となり、目標値を 222人下回った。	△	新型コロナウイルス感染症の院内クラスター発生対応に伴う入院受入制限措置の実施などにより、新入院患者数に影響し、令和4年度と同程度の結果となった。 一方で、新入院患者数が増加しない理由の1つとして、回復期医療の役割を果たす地域包括ケア病床の平均在院日数が増加傾向にあることがあげられるため、計画の改訂版においては、令和6年度以降の目標値を引き下げている。																																					
501	427	428																																																			
650	650	650	450	450																																																	
					【参考】急性期病院等からの転院患者数 R4：107人 R5：112人（+5人）																																																
6	年延外来患者数	人	30,000 25,000 20,000 15,000 10,000 R3 R4 R5 R6 R7 ■ 実績値 ■ 目標値 <table><tr><td>23,870</td><td>23,441</td><td>21,970</td><td></td><td></td></tr><tr><td>24,101</td><td>24,144</td><td>24,187</td><td>24,229</td><td>24,272</td></tr></table>	23,870	23,441	21,970			24,101	24,144	24,187	24,229	24,272	指標説明 年延外来患者数は、新来、再来、往診及び訪問診療患者の合計数で、病院の利用状況を把握するための指標となる。 R5実績 令和5年度の目標値 24,187人に対し、実績は 21,970人となり、目標値を 2,217人下回った。	△	令和5年度は、令和4年度と比較して新型コロナウイルス感染症に係る外来患者数（PCR検査数）が減少していることに加え、医師のコロナ感染に伴う外来診療の一時停止や院内クラスター発生に伴う外来リハビリの一時停止などの措置を実施したことにより、年延外来患者数が1,471人減少した。 <table><tr><td>年延外来患者数</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>院内外来</td><td>22,916</td><td>23,384</td><td>23,031</td><td>21,594</td></tr><tr><td>訪問診療</td><td>483</td><td>461</td><td>375</td><td>337</td></tr><tr><td> 自宅</td><td>115</td><td>166</td><td>105</td><td>115</td></tr><tr><td> 施設</td><td>368</td><td>295</td><td>270</td><td>222</td></tr><tr><td>往診</td><td>31</td><td>25</td><td>35</td><td>39</td></tr><tr><td>計</td><td>23,430</td><td>23,870</td><td>23,441</td><td>21,970</td></tr></table>	年延外来患者数	R2	R3	R4	R5	院内外来	22,916	23,384	23,031	21,594	訪問診療	483	461	375	337	自宅	115	166	105	115	施設	368	295	270	222	往診	31	25	35	39	計	23,430	23,870	23,441	21,970		
23,870	23,441	21,970																																																			
24,101	24,144	24,187	24,229	24,272																																																	
年延外来患者数	R2	R3	R4	R5																																																	
院内外来	22,916	23,384	23,031	21,594																																																	
訪問診療	483	461	375	337																																																	
自宅	115	166	105	115																																																	
施設	368	295	270	222																																																	
往診	31	25	35	39																																																	
計	23,430	23,870	23,441	21,970																																																	
7	材料費比率	%	20.0 16.0 12.0 8.0 4.0 0.0 R3 R4 R5 R6 R7 ■ 実績値 ■ 目標値 <table><tr><td>13.1</td><td>15.0</td><td>16.8</td><td></td><td></td></tr><tr><td>13.1</td><td>15.0</td><td>15.0</td><td>15.0</td><td>15.0</td></tr></table>	13.1	15.0	16.8			13.1	15.0	15.0	15.0	15.0	指標説明 材料費(医薬品や診療材料費等)/医業収益×100 材料費比率は、医業収益の中で材料費が占める割合を示す指標で、薬品費等を含む材料費は医業費用の中でも高い割合を占める費用であるため、類似病院平均より上回っている場合には、その原因について分析し、改善へ向けた検討をする必要がある。 R5実績 令和5年度の目標値 15.0%に対し、実績は 16.8%となり、目標値を1.8ポイント超過した。	△	令和5年度は、令和4年度と比較して、手術実施件数の増加により入院収益が増加したものの、併せて診療材料費も増加しており、加えて物価高騰の影響などにより、給食材料費も増加したため、材料費比率が1.8ポイント上昇する結果となった。																																					
13.1	15.0	16.8																																																			
13.1	15.0	15.0	15.0	15.0																																																	
	※低い方が良い。				【参考】類似病院平均値 R3:14.9% R4:15.6%																																																
	※病院事業のみ																																																				

8	在宅復帰率	%	 <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>実績値</td><td>75.6</td><td>81.5</td><td>82.1</td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td>80.0</td><td>80.0</td><td>80.0</td><td>80.0</td><td>80.0</td></tr></table>		R3	R4	R5	R6	R7	実績値	75.6	81.5	82.1			目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	指標説明 在宅復帰率は、入院患者の退院先が自宅等であった割合を示す指標で、田野病院は入院治療後、病状が安定した患者に対し、リハビリ等を提供する地域包括ケア病床（在宅復帰支援のための病床）を有している。	○	自己評価 令和3年度から徐々に上昇しており、令和4年度に引き続き、令和5年度も目標値を上回る結果となった。また、地域包括ケア病床の実績要件も継続して満たしている。 【参考】地域包括ケア病床の施設基準 72.5%以上		評価に対する意見等
	R3	R4	R5	R6	R7																					
実績値	75.6	81.5	82.1																							
目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0																					
9	リハビリ件数	件	 <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>実績値</td><td>10,921</td><td>10,587</td><td>10,068</td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td>9,000</td><td>9,000</td><td>9,000</td><td>10,000</td><td>10,000</td></tr></table>		R3	R4	R5	R6	R7	実績値	10,921	10,587	10,068			目標値	9,000	9,000	9,000	10,000	10,000	指標説明 リハビリ件数は、入院リハビリテーション及び外来リハビリテーションの合計件数で、田野病院は第4次宮崎市病院事業経営計画において、果たすべき役割とし、回復期医療の提供等を掲げている。	○	令和3年度から3年連続で目標値を上回る結果となり、田野病院が掲げる回復期医療の提供という役割を果たしているといえる。		
	R3	R4	R5	R6	R7																					
実績値	10,921	10,587	10,068																							
目標値	9,000	9,000	9,000	10,000	10,000																					
10	在宅医療実患者数	人	 <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>実績値</td><td>62</td><td>50</td><td>48</td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td>60</td><td>70</td><td>70</td><td>60</td><td>60</td></tr></table>		R3	R4	R5	R6	R7	実績値	62	50	48			目標値	60	70	70	60	60	指標説明 在宅医療実患者数は、在宅療養支援を行う実患者数で、田野病院は在宅療養支援病院であるため、第4次宮崎市病院事業経営計画において、果たすべき役割とし、在宅医療の提供を掲げている。	△	在宅医療の契約者のうち、亡くなられた患者が多かったこと及び新たな契約数も少なかったため、在宅医療の実患者数が減少し、目標値を下回った。 外来患者数が少なかったことから、在宅医療を提案する対象となる患者も少なく、新たな契約に結び付いていない。 【参考】在宅医療の患者について 在宅医療については、入院患者が退院する際や、外来患者のうち医師が在宅医療を必要と判断した際に、声かけを行い、契約につなげている。		
	R3	R4	R5	R6	R7																					
実績値	62	50	48																							
目標値	60	70	70	60	60																					
11	在宅看取患者数	人	 <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>実績値</td><td>7</td><td>8</td><td>7</td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>6</td><td>6</td></tr></table>		R3	R4	R5	R6	R7	実績値	7	8	7			目標値	4	4	4	6	6	指標説明 在宅看取患者数は、患者が住み慣れた自宅で自然に死を迎えられるよう支援を行う実患者数で、田野病院は在宅療養支援病院であるため、第4次宮崎市病院事業経営計画において、果たすべき役割とし、在宅医療の提供を掲げている。	○	令和3年度から3年連続で目標値を上回る結果となり、田野病院が掲げる在宅医療の提供という役割を果たしているといえる。 【参考】在宅療養支援病院の要件 4名以上		
	R3	R4	R5	R6	R7																					
実績値	7	8	7																							
目標値	4	4	4	6	6																					
12	手術件数	件	 <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>実績値</td><td>57</td><td>53</td><td>80</td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td>50</td><td>50</td><td>50</td><td>50</td><td>50</td></tr></table>		R3	R4	R5	R6	R7	実績値	57	53	80			目標値	50	50	50	50	50	指標説明 手術件数は、田野病院において1年間に行った手術件数で、高齢者に多い大腿骨や股関節骨折等の専門的な手術を行うなど、専門医療の提供を果たすべき役割として掲げている。	○	令和5年度は安定的に麻酔科医を確保することができたため、令和4年度と比較して大幅に手術件数が増加した。 【参考】主な手術内容 ・人工股関節置換術 ・人工膝関節置換術		
	R3	R4	R5	R6	R7																					
実績値	57	53	80																							
目標値	50	50	50	50	50																					